

モバイルロケータのご使用にあたって

本装置は設置する車両の位置情報を、パケット通信網により位置情報センターに通信する装置です。
以下に示す制約があるため、使用環境によってはご使用になれない場合があります。

1. GPS受信について

- 本装置はGPS衛星からの電波を受信して位置の計測（測位）を行うため、トンネル・地下・水中・建物の中など、衛星電波の届かない所では測位ができません。
- GPS衛星からの電波は非常に弱く、建物、人間、金属、生い茂った木などを通ることができません。そのため使用環境によりましては、測位できない、測位しにくい、測位しても位置精度がでない等、正常な動作を行わない場合があります。
 - ・高い建物や壁に囲まれた場所
 - ・高架道路、高架線路の下、また、電波塔など強電界が発生している場所など
 - ・生い茂った木の下など
- GPS衛星は複数あり、それぞれが12時間弱で地球を1周します。そのため同じ使用環境であっても時間が異なれば測位精度は変化し、測位できない場合もあります。

2. 通信について

- 本装置は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中など無線に障害を及ぼす所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- お客様ご自身で、本装置に登録された初期設定の内容は、別にメモをとるなどして保管して下さるようお願いいたします。万一、登録された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本装置は日本国外では、ご使用になれません。

安全上のご注意






絵表示について





この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

-  本装置を分解、改造しないでください。感電・火災・故障の原因となります。
-  強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。機器の故障・火災の原因となります。
-  本装置を濡らしたり、水を入れたりしないでください。感電・故障の原因となります。
-  指定の電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  各ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。

-  航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
医療機関内における使用については、各医療機関の指示に従ってください。
-  心臓ペースメーカーを装着されている場合や、近くに心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合は、電源を切ってください。
電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
-  本装置には高エネルギーのリチウム電池が内蔵されています。この電池は、ショート・衝撃・水漏れなどによって破裂する危険があります。本装置を廃棄する場合は、リチウム電池の取外し、保管は必ず当社の代理店又は営業所へご依頼ください。これを守らないと、リチウム電池がショートしたり、衝撃を受けたり、水に濡れたとき、発熱・破裂・発火の原因となります。
-  電池は火中に投げ入れないでください。爆発して火災・けがの原因となります。

⚠注意

-  直射日光の強い所や高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の発熱・変形・故障の原因となることがあります。
-  湿気やほこりの多いところには保管しないでください。
発熱・発火・故障の原因となることがあります。

JRN-70F モバイルロケータご利用の手引き



図 A FOMA チップの装着

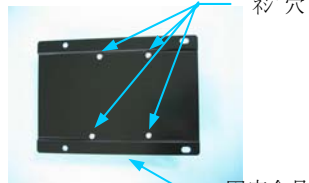


図 B 本体と固定金具の取り付け



図 C 各種ケーブルの接続



図 D GPS アンテナの設置(車室外)



図 E GPS アンテナの設置(車室内)



図 F FOMA アンテナ
(写真は小型防滴アンテナ)

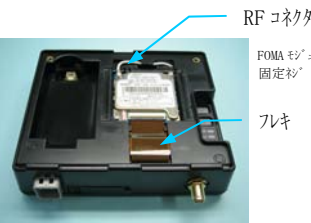


図 G FOMA モジュールの取り付け/取り外し

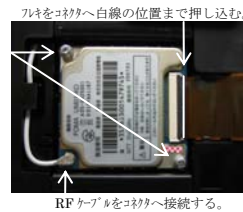


図 H FOMA モジュール用フレキ、同軸コネクタ取り付け/取り外し

1. FOMAチップの装着 図A

- (1) FOMAチップカバー(②)をめくるように開けます。
- (2) 印刷指示の通りにFOMAチップを挿入します。(カチッと音がするまで挿入)
- (3) FOMAチップカバー(②)を閉めます。

2. 本体と固定金具の取り付け 図B

- (1) 本体背面のネジ穴に固定金具のネジ穴の位置を合わせます。
- (2) 本体と固定金具を付属のセルフタッピングネジで固定します。[推奨締付トルク : 63.7N・cm (6.5kgf・cm)]

3. 各種ケーブルの接続 図C

- (1) 電源コネクタ(⑩)にDCケーブルを接続します。
- (2) FOMAアンテナコネクタ(⑧)にFOMAアンテナを接続します。[推奨締付トルク : 59~98N・cm(6~10kgf・cm)]
- (3) GPSアンテナコネクタ(⑫)にGPSアンテナを接続します。
- (4) オプションの拡張コネクタケーブル等をご使用の場合は、拡張コネクタ(⑨)に接続します。

4. アンテナの設置

- (1) GPSアンテナ 図D, E
ルーフ中央に設置します。車内にケーブルを引き込む際には、防水処理を行わないドア、ハッチでケーブルを損傷しないように配線します。やむを得ず車内に設置する場合は、電装機器からできるだけ離して設置します。(近づけて設置するとお互いが影響を与え、誤動作の原因となります)
- (2) FOMAアンテナ 図F
FOMAアンテナは、NTTドコモ製標準アンテナ(注1)をご使用ください。アンテナコネクタの付け外しは、SMAコネクタ用トルクレンチ等の専用工具を使用し、適正トルク(注2)でおこなってください。コネクタの締め過ぎは、破損による故障の原因となります。また、コネクタの締め付け不足は通信品質の劣化の原因となります。
(注1) NTTドコモ製標準アンテナ : ①小型防滴アンテナ, ②簡易アンテナ, ③ルーフトップアンテナ
(注2) SMAコネクタの締め付けトルク : 59~98N・cm(6~10kgf・cm)

5. 本体の設置

- (1) 固定金具のネジ止め穴にM4ネジ(4本)を使用するか、オプションの取付キットで固定します。

6. 電源ON

- (1) ヒューズボックス経由で、カーバッテリーより本体に電源を供給します。
- (2) 電源ボタン(⑦)を長押しします。(ACCラインONでも同様の動作になります。)
- (3) データ通信モードの場合はP(電源LED③)とC(通信LED④)が、ロケーションモードの場合はP(電源LED③)とG(GPSLED⑤)が緑色で点滅を始めます。点滅を確認したらボタンから手を離してください。
- (4) 点滅終了後、P(電源LED③)が緑色又は赤色で点灯します。C(通信LED④)、G(GPSLED⑤)の状態が赤色点灯/赤色点滅を継続する場合は、FOMA通信圏外やGPSアンテナ接続不備の可能性がありま。

7. 電源OFF

- (1) 電源ボタン(⑦)を長押しします。(ACCラインOFFでも同様の動作になります。)
- (2) データ通信モードの場合はP(電源LED③)とC(通信LED④)が、ロケーションモードの場合はP(電源LED③)とG(GPSLED⑤)が赤色で点滅を始めます。
- (3) LEDの点滅を確認できたら電源ボタン(⑦)を離します。
- (4) P(電源LED③)とC(通信LED④)またはG(GPSLED⑤)が消灯します。

8. FOMAモジュールの取り付け/取り外し 図G, H

- (1) 取り付け
 - ① FOMAモジュールにフレキを取り付けます(白線まで差し込む)。
 - ② フレキをケースのガイドに通した後、ネジ留め(M2ネジ2箇所)します。
[推奨締付トルク : 20N・cm (2kgf・cm)]
余分にはみ出したフレキは出来るだけ、ケース内に押し込みます。
 - ③ RFコネクタを接続した後、フレキを挟みぬ様に放熱板を取り付けます。
 - ④ M3サラネジ2箇所ですり付けます。[推奨締付トルク : 50N・cm (5.1kgf・cm)]
- (2) 取り外し
 - ① 本体表面の放熱板のネジ(⑩)2箇所を外します。
 - ② FOMAモジュール固定用ネジ2箇所を外します。
 - ③ RFコネクタ、フレキを取り外し、FOMAモジュールを取り外します。

9. その他

その他ご不明な点は、販売店にご確認ください。

ご注意

- ・本装置の使用温度範囲は-20~+60℃です。この範囲を超えて使用すると故障の原因となります。
- ・本装置のアクセサリライン(ACC)は、車両のイグニッションに接続し、常時電源が供給されず定期的に電源 OFF/ON されるようにしてください。
- ・設置作業は電源を切って行ってください。
- ・本体、アンテナおよびケーブルは運転およびエアバック等の装備品の動作を妨げないように設置してください。
- ・本装置のダッシュボードへの設置は絶対にしないでください。直射日光の影響により FOMA モジュール放熱部が熱くなり、誤って触れることによる火傷の危険性があります。
- ・GPS アンテナの積雪により、GPS 測位データが影響を受けることがあります。積雪を取り除いてご使用ください。
- ・GPS 測位データへの電装機器からの影響を避けるため、GPS アンテナをカーナビ以外の電装機器からできるだけ離して設置してください。